

Web of Science を利用した引用調査

名古屋大学



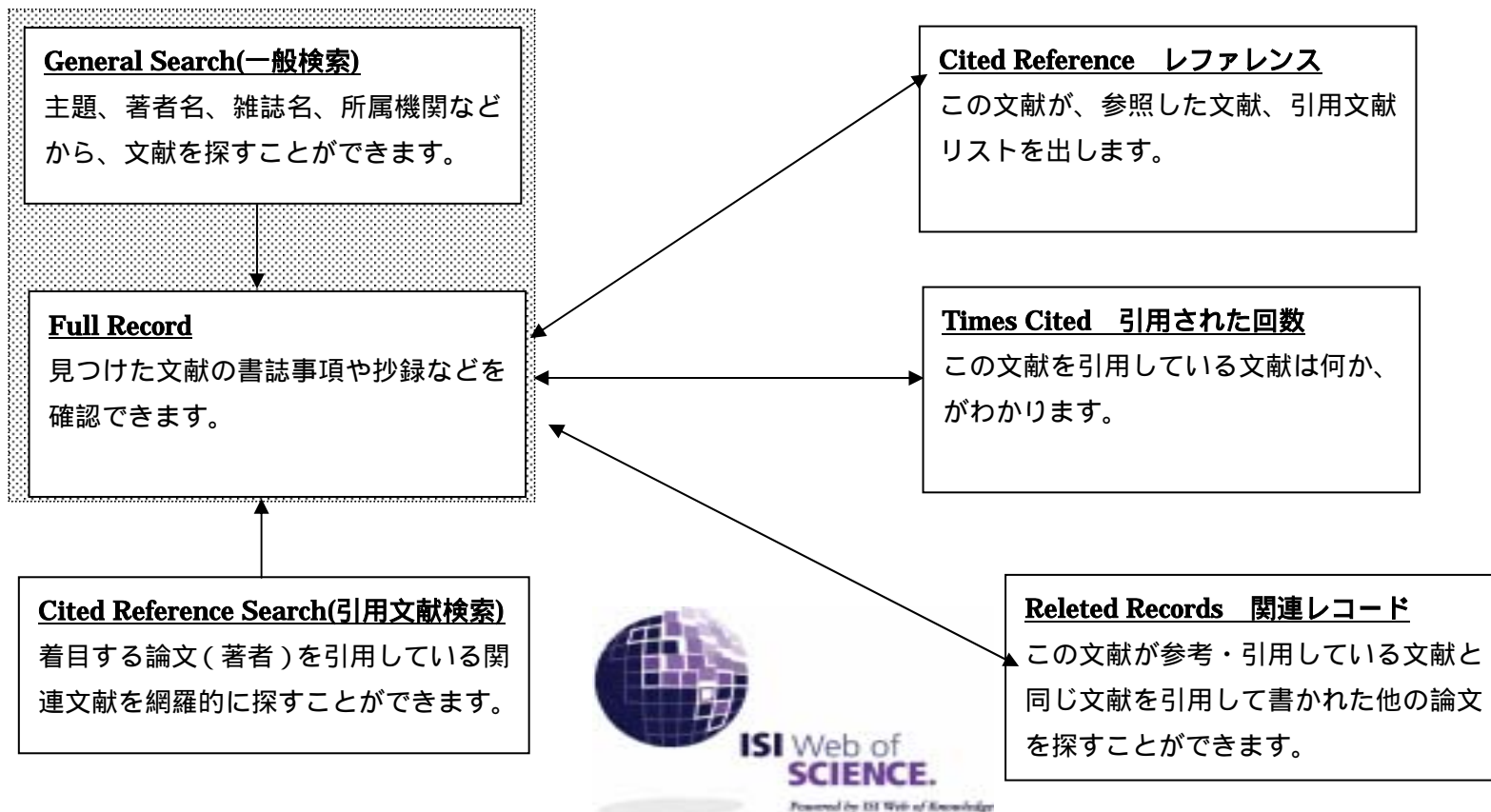
**Copyright © 2002 Institute for Scientific Information, Inc®. (ISI®)**

**ISI customers are hereby granted permission to make copies of this training guide for their own use within their organization. All reproduced copies must contain the Institute for Scientific Information's copyright notice (including partial copies). Other reproduction shall require the express consent of the ISI.**

# ■ ISI Web of Science®の構造

## ■ Web of Science は、文献探索のための基本的なデータベース

多くの文献データベースでは、通常、文献検索は下の網かけの部分の機能で完結しますが、Web of Science では、文献相互の引用関係をたどることにより、キーとなる文献から、網羅的に幅広く必要な文献を見つけ出すことができます。



## ISI Web of Science 利用のメリット

- 通常の主題検索では見落としていた関連文献を網羅的に調べられる。
- ある論文がどのような先行研究に基づいて発表されたかを知ることができる。
- あるテーマについて書かれた論文で影響度の高い(よく引用されている)論文は何か？
- ある研究がどのように発展・展開しているかがわかります。
- 自分の書いた論文が誰に引用されたか、また何回くらい引用されたかがわかる。
- 特定のテーマで総説論文を集めることができる。
- 古い論文、雑誌以外で発表された論文・研究もどのような展開があったのかを調べることができる。
- 書誌事項の確認ができる。
- 電子ジャーナル/NCBIレコードへ記事ベースでアクセスができる。

## Web of Science による被引用検索のヒント

### 【Web of Science の検索の種類】

Web of Science を使って、どのような検索ができるか？

Web of Science には、大きく分けて、**General Search**と**Cited Reference Search**の2種類があります。

- ・**General Search**...通常の文献検索です。例えば、著者名を入力して検索を行なうと、その著者の書いた論文を探することができます。契約に含まれるデータ年以降に出版された論文を検索することができます。
- ・**Cited Reference Search**...ある文献が、どの論文に引用されたかを探す検索です。被引用文献の調査には、こちらの検索が最も有効となります。

\***Combine Search**でこの2種類の検索を組み合わせて、自己引用の論文は除く、といった検索もできます。

### 【Cited Reference Search】

一般的に、Cited Reference Search は、下記のステップで検索をすすめます。

- (1) 初期画面から、**Full Search**を選びます。
- (2) データベースの年代を選択する画面で、**CITED REF SEARCH**を選びます。
- (3) 検索項目（著者、著作掲載雑誌略名・著作物略名、発行年）を入力し、**LOOKUP**ボタンをクリックします。
- (4) 論文の候補が表示されますので、引用されている文献を見たいものにチェックをつけて、**SEARCH**ボタンをクリックします。
- (5) チェックをつけた文献を引用している文献の一覧が表示されます。

## 名古屋大学の研究者による論文を検索

特定大学の著者の方がご自分の論文について検索をされる場合の事例：

1. 主に雑誌で発表した論文について、それらがどのように引用されたか、また、検索結果は最も多く引用されている論文から見たい場合：General Search検索

日本人の著者名の場合、“姓 + 名前のイニシャル”では同定がしにくい場合があります。Author フィールドと Address フィールドを併せて利用することをお勧めします。

- 1) Full Search を選び General Search で Author フィールドに著者名を入力します。  
Yoshioka K (大文字・小文字は区別しません。)
- 2) 次に Address のフィールドに大学の英名略形で入力します。学部名も SAME を使用して指定することができます。学部略形例：工学系学部 = Engn\* 医学系学部 = Med\* 化学系学部 = Chem\* など。学部名の省略は最初の三文字に\*印(アスタリスク)を付ける事で想定入力できます。  
Nagoya Univ SAME Med\* (名古屋大学医学系学部)
- 3) Search ボタンをクリックして検索を実行します。
- 4) Summary Result 画面右の Sort Option で Times Cited を指定します。  
検索結果を最多被引用文献から順に表示しなおすことができます。



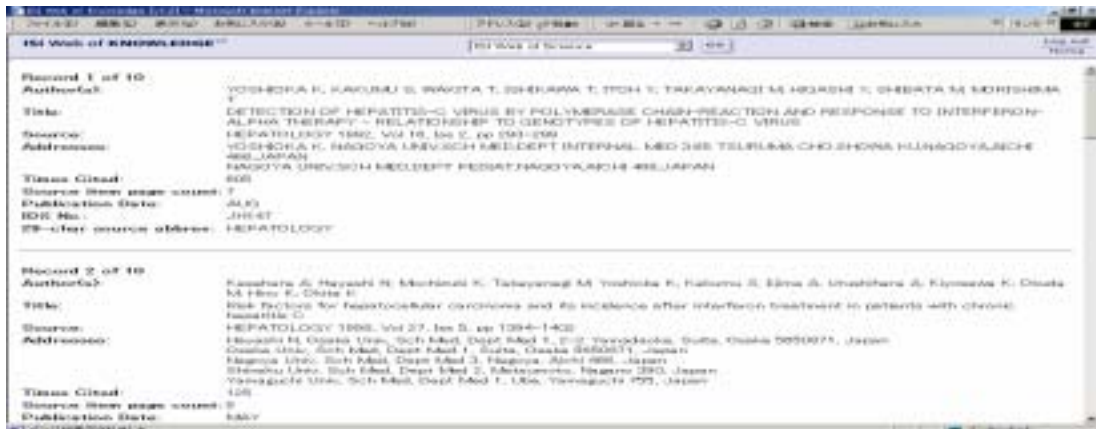
The screenshot shows the ISI Web of Science General Search page. The search criteria are as follows:

- TDFK:** Enter terms to find them in the article title, keywords, or abstract. Example: [yoshioka k]  Title only
- AUTHOR:** Enter one or more author names as O'BRIAN C\* OR O'BRIAN C. Example: [yoshioka k]
- SOURCE TITLE:** Enter title or copy and paste from the source list.
- ADDRESS:** Enter abbreviations from an author's affiliation as YALE UNIV SAME HOSP (see abbreviations list). Example: [nagoya univ same med]

**GET SEARCH LIMITS:** Restrict search by languages and document types.

All languages	All document types
English	Article
All languages	Abstract of Published Item

5) 検索結果をまとめて印刷したい場合は MARK PAGE または MARK ALL ボタンをクリックします。まとめて印刷・保存できます。(詳細はマニュアル 14、21 頁参照)



2. かなり古い論文、1. では検索されなかった論文、あるいは雑誌論文ではないものについてどのように引用されているか調べたい場合：

Cited Reference Search を実行します。(詳しくは本冊子初めまたは、別マニュアル 24 - 29 頁、38 - 43 頁参照)。Cited Author フィールドに著者の名前を入力します。Lookup 機能により候補がリストされます。その中から条件を満たすものを選んで、Search ボタンをクリックします。発表雑誌名、発表年などがわかっている場合は、その条件を入力してください。ただし、Cited Work は雑誌の最初の 3 文字以上 + \* で、あいまい性を残した検索で様々なバリエーションを含むことができます。

特定の著者の著作すべてを対象に引用調査を行なう場合は、Cited Author 名だけを入力して検索すると Lookup によるレファレンス結果表示が多くなります。そこで、Cited Author のフィールドと Cited Year (対象論文の出版年) を使って、出版年ごとに検索を進め Lookup で示されるレファレンスリストが絞りこんで検索を実行することをお奨めします。



## 【年代の制限等に伴う Cited Reference Search の注意事項】

### (1) 契約内データ年以降の論文に引用された文献であれば検索できます。

General Search では、契約されているデータ年内の論文が検索可能ですが、Cited Reference Search では、それ以前に出版された論文であっても、契約データ年内に1回でも引用されたことがあるものについては、どの論文に引用されたかをご覧くださいることができます。

### 1975年データ分における検索

- ・ 1975年以降（契約データ年内）に引用されている文献の候補が、Look up でリストされます。発表年代にかかわらず、引用がされていない文献は表示されません。
- ・ Look Up のリストに表示されている Hits(被引用回数)は、当該論文が発表されてから現在までの間に引用されたトータル数を表しています。
- ・ Search を実行した結果表示される引用している文献のリストは、1975年以降の文献のみです。

### (2) 契約データ年以前の文献は筆頭著者からのみ Look Up ができます。

(1)で述べたとおり、1975年以前に出されたもので、1975年以降に1回でも引用されたことがある文献については Look Up の対象となっていますが、この場合（1969年以前に出された論文）は筆頭著者からしか探せません。一方、1975年以降出版のものについては、すべての共著者から探ることが可能です。（この場合、Look Up のリスト表示画面では、著者名の前に省略記号（...）がついています。）

## 特定の研究者の論文を調べる

### 例1: 1975年以降の論文：検索対象の研究者以外の共著者名からでも検索可能

NOYORI R, NISHIDA I, SAKATA J, " SUPERANIONS .5. TRIS(DIALKYLAMINO)SULFONIUM ENOLATES - SYNTHESIS, STRUCTURE, AND REACTIONS " *JOURNAL OF THE AMERICAN CHEMICAL SOCIETY* 105 (6): 1598-1608 1983

### 例2: 1975年以前の論文について、検索対象の研究者が筆頭著者の場合：研究者の名前及び年で検索可能。

NOYORI R, KATO M, KAWANISI M, NOZAKI H, " PHOTOCHEMICAL REACTION OF BENZOPYRIDINES WITH ALKANOIC ACIDS - NOVEL REDUCTIVE ALKYLATION OF ACRIDINE QUINOLINE AND ISOQUINOLINE UNDER DECARBOXYLATION " *TETRAHEDRON*, 25 (5): 1125-& 1969

例 3 : 1975 年以前の論文について、検索対象の研究者が筆頭著者でない場合：筆頭著者が誰かを確認、筆頭著者の名前及び年で検索可能(以下のように筆頭著者が違う場合 Noyori R で検索しても正しく検索されません)

NOZAKI H, NOYORI R, " PREPARATION OF CIS-CYCLODODECENE CYCLODODECYNE AND CYCLODODECANONE " *JOURNAL OF ORGANIC CHEMISTRY* 30 (5): 1652-& 1965

(3) 年代を問わず引用のバリエーションに注意する必要があります。

引用データは、オリジナルの文献に記載された通りに収録されていますので、孫引きなどにより、違った形で引用表記されている場合があります。被引用文献を網羅的に調べる際には、引用のバリエーションを考慮する必要がありますが、引用のバリエーションは筆頭著者で Look Up を行なわないと見つけ出すことができません。したがって、バリエーションを含めて探すためには、契約データ年以降に発表された文献についても筆頭著者からの Look Up を行なうほうがより確実といえます。

例：以下の YOSHIOKA K を Cited Author として、HIGASHI Y, KAKUMU S, YOSHIOKA K, WAKITA T, MIZOKAMI M, OHBA K, ITO Y, ISHIKAWA T, TAKAYANAGI M, NAGAI Y " DYNAMICS OF GENOME CHANGE IN THE E2/NS1 REGION OF HEPATITIS-C VIRUS IN-VIVO " *VIROLOGY*, 197 (2): 659-668 DEC 1993 に発表した論文を検索した場合、YOSHIOKA K は筆頭著者ではないため (...) が つきます。このように共著で検索した場合にバリエーションは出てきません。しかしこの同じ論文の筆頭著者である HIGASHI Y で探すとバリエーションが見られます。(下図参照)

The screenshot shows a web interface titled "STEP 2: CITED REFERENCE SELECTION". It contains instructions and a table of references. The table has columns for Hits, Cited Author, Cited Work, Volume, Page, and Year. The data is as follows:

Hits	Cited Author	Cited Work	Volume	Page	Year
95	HIGASHI Y	VIROLOGY	197	659	1993
24	Higashi Y	VIROLOGY	196	136	1993
2	HIGASHI Y	VIROLOGY	197	659	1992

Below the table, there are sections for "SET LIMITS AND SORT OPTION" and a "THOMSON ISI" logo at the bottom right.



- Web of Science を核として様々なデータベースを統合的に利用できる環境へ広げることができます。

